令和8年度

つるぎ町立貞光中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

①前進タイムや授業での復習を継続的に行い、各教科の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。

②場面に応じて効果的にICTを活用し、生徒が主体的に学びに向かえる学習環境をつくる。

校長　中川　浩幸

学力向上推進員　河村　祥

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○各教科や前進タイムの課題に真面目に取り組み、最後までやり遂げようとする姿勢が見られる生徒が多い。 ●学級内での学力差が大きく、基礎的・基本的な内容の理解や定着に個人差が見られる。	・各教科において授業内容を概ね理解し、基礎的・基本的な知識や技能を身につけている。 ・学習のしかたを身につけており、課題に取り組むことで知識を広げたり、深めたりすることができる。 ・授業に積極的に取り組むことができる。	・本時の目標や学習内容を提示し、授業の流れを視覚的に分かりやすく示す。 ・前進タイムにおいて、5教科（国・数・社・理・英）の反復練習を継続的に実施する。 ・ICT（タブレットやデジタル教科書等）を効果的に活用し、分かりやすい授業を行う。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○グループでの話し合い活動に意欲的に取り組める生徒が多い。 ●自分の考えに、根拠を示しながら筋道を立てて説明することが苦手な生徒が多い。	・習得した知識・技能を活用し、文章や図、表などから必要な情報を読み取り、適切に判断することができる。 ・授業で学んだことを踏まえ、根拠や理由を明確にしながら自分の考えを表現することができる。	・徳島県学力向上確認プリントやステップアップテスト、全国学力・学習状況調査等の問題に取り組ませることで、判断力の育成を図る。 ・前時の復習や振り返りの時間などに、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れたり、よくまとめられている意見や考えを全体で共有したりする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業中、積極的に発表する生徒が多い。また、活動や課題に粘り強く取り組もうとする生徒が多い。 ●家庭学習の習慣が身についていない生徒や、毎日の課題への取り組みが十分でない生徒がいる。 ●学習に対する自己肯定感が低く、継続的に学習に向かえない生徒が見られる。	・自分に合った学習目標を立て、課題や自主学習に継続して根気強く取り組むことができる。 ・日々の学習に対して、主体的に取り組むことができる。 ・身の周りの様々なことに興味をもち、自ら主体的に学習に向かうことができる。	・前進タイムや家庭学習においてタブレットを活用し、生徒一人ひとりの理解度に応じた問題に取り組ませる。 ・生徒の学習活動に対して、全教員がポジティブ行動支援を継続して行い、学習意欲や自己肯定感を高めさせていく。 ・阿波っ子タイムズを読み、内容を要約したり、自分の意見をまとめたりする活動を通して、身の周りのことや社会への興味・関心を育てる。			